
斑鳩町子ども読書活動推進計画 2030

—推進計画 2025 の成果と課題—



斑鳩町教育委員会

目次

はじめに

斑鳩町子ども読書活動推進計画 2030

—推進計画 2025 の成果と課題—

推進計画 2030 の策定にあたって	1
『斑鳩町子ども読書活動推進計画』の基本テーマ	
推進計画の期間、推進計画 2030 の対象年齢	
推進計画 2030 の基本的な考え方	
推進計画 2030 の体系図	

推進計画 2030 の目標	3
---------------------	---

5年のあゆみ（令和3年度～令和7年度）	7
---------------------------	---

斑鳩町における子ども読書活動の現状	8
地域（読書支援ボランティア）	
幼稚園・保育園・認定こども園、小学校・中学校	
関連施設、町立図書館	

附属資料	26～39
------------	-------

推進計画 2030 協議経過	40
----------------------	----

推進計画 2030 策定委員等	41
-----------------------	----

はじめに

近年、情報化やデジタル化の進展により、子どもたちを取り巻く読書環境は大きく変化しています。その一方で、言葉をとおして深く考え、豊かな心を育む読書の価値は、これまで以上に重要性を増しています。しかしながら、児童用図書の貸出冊数は減少傾向にあり、令和元年度から令和3年度にかけては、小・中学生の不読率も上昇しています。新型コロナウイルスの感染症の拡大に伴う学校の臨時休業や図書館の臨時休館、入館・利用制限等により、子どもたちが図書にアクセスしにくい状況が生じたことが、その一因である可能性も考えられます。

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身に付ける上で、欠くことのできないものです。こうしたことから、子どもの読書活動の推進を図るため、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されました。令和5年3月に策定された、第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」では、令和元年の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）の制定や、近年のICTの急速な発展等を踏まえ、「不読率の低減」、「多様な子どもたちの読書機会の確保」、「デジタル社会に対応した読書環境の整備」、「子どもの視点に立った読書活動の推進」等を基本方針として掲げています。

本町におきましても、平成17年5月に「斑鳩町子ども読書活動推進計画2005」を策定して以来、国や県の動向を踏まえ、概ね5年ごとに計画の見直しを行い、継続的に取組を進めてまいりました。このたび、令和12年度を目標年次とする「第5次斑鳩町総合計画」後期基本計画において、「子どもの教育の充実」を掲げる中、新たに「斑鳩町子ども読書活動推進計画2030」を策定いたしました。

現在、本町では、地域・学校・図書館等が一体となり、子どもが読書に親しむための機会の提供や環境の整備・充実、読書活動の啓発、推進体制の整備に取り組んでおります。これまでの成果として読書支援ボランティアによる各施設への訪問活動の活発化、団体貸出を活用する施設の増加による本を届ける拠点の拡充などが挙げられます。また、「図書館ご招待デー」の実施により町内全域の子どもたちの図書館利用機会が広がるとともに、「斑鳩町子ども司書」の活動をとおして、子どもの視点に立った読書活動の推進も図られてまいりました。

本計画のもと、すべての子どもたちが読書の喜びに出会い、健やかに成長できるよう、今後も施策の一層の充実に努めてまいります。引き続き、皆さまの温かいご支援とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、ご理解とご協力を賜りました多くの関係者の皆さまに心より厚く御礼申し上げます。

令和8年3月31日

斑鳩町教育委員会
教育長 山本 雅章

斑鳩町子ども読書活動推進計画 2030

—推進計画 2025 の成果と課題—

■ 推進計画 2030 の策定にあたって

本町では、平成 17 年 5 月に「斑鳩町子ども読書活動推進計画 2005」を策定して以来、5 年ごとに計画の改定を行ってきました。令和 3 年 3 月の「斑鳩町子ども読書活動推進計画 2025」では、2021 年から 2025 年までの課題解決を目指し、その策定から 5 年が経過いたしました。

策定後の時代の変化に対応するためには、町全体としてあらたな指針を作成する必要があります。今後さらに地域、学校・園・関連施設および町立図書館が連携し、第 5 次斑鳩町総合計画で基本目標 3「子どもの未来が輝くまちにします」に掲げられている基本施策 9「子どもの教育の充実」において、子どもの読書活動を一層推進していくため、ここに「斑鳩町子ども読書活動推進計画 2030」を策定するものです。

■ 『斑鳩町子ども読書活動推進計画』の基本テーマ

読書は心と心、人と人をつなぐもの

読書は「著者と読者との対話」であり、本との対話を通じ、言葉を学び、未知の世界を知り、想像力を高め、感性が磨かれます。本は、大人と子ども、子ども同士を結び、心と心、人と人をつないでいきます。

斑鳩町では、家庭、地域、学校・園・関連施設、町立図書館が、連携・協働し、子どもの読書に関心を持ち、読書環境を整えるために努力していきます。

■ 推進計画の期間

令和 8（2026）年 4 月 1 日から、おおむね 5 年間とします。

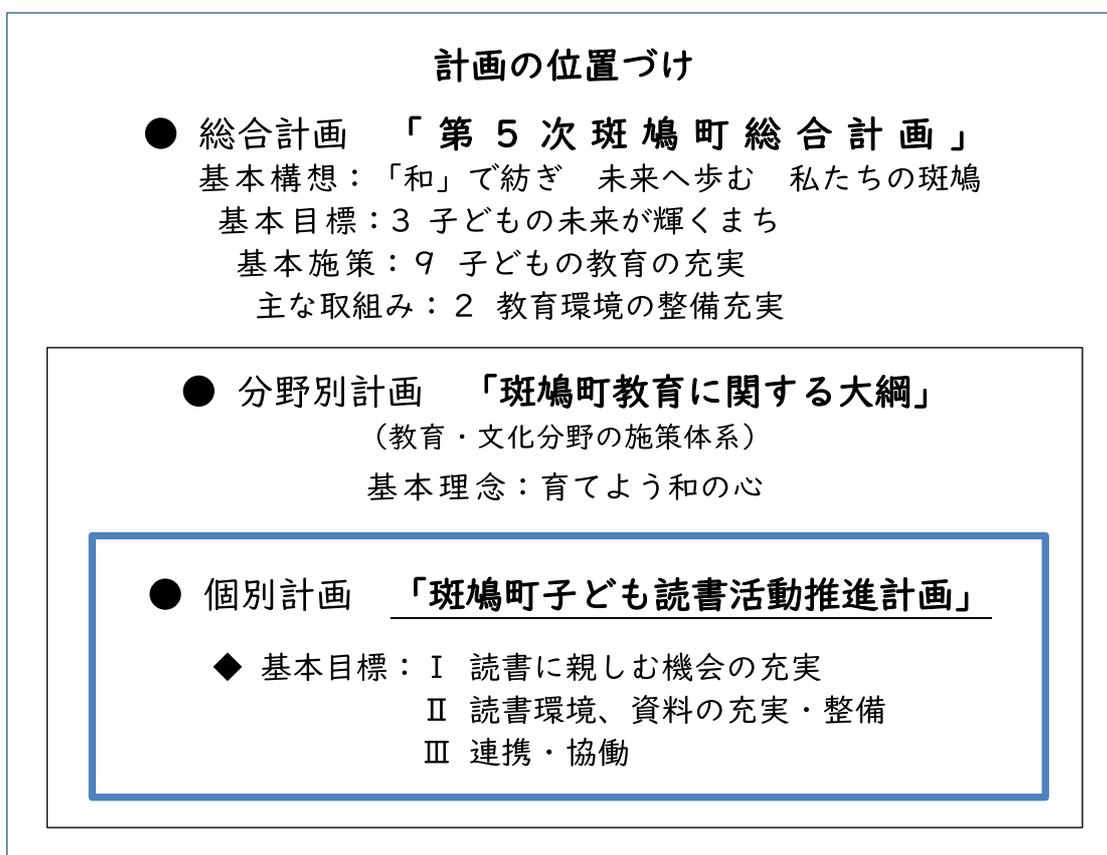
■ 推進計画 2030 の対象年齢

推進計画 2030 の計画実施対象年齢は、引き続き 0 歳から 15 歳までとします。
また、子どもの読書活動推進に関わる周囲の大人も対象に含みます。

■ 推進計画 2030 の基本的な考え方

2005 年版、2010 年版、2015 年版、2025 年版の基本テーマを継承するとともに、「推進計画 2030 の目標」に沿いながら取組みを進めます。また、計画内容の検討や調整の必要が生じた場合は、斑鳩町立図書館協議会の助言も得ながら、地域、学校・園・関連施設、町立図書館との「斑鳩町子ども読書活動推進計画調整会議」の中で協議を行い改善します。

■ 推進計画 2030 の体系図



【子どもの読書活動の推進に関する法律にもとづく計画】

- ・ 「子どもの読書活動の推進に関する基本計画」【国】(同法第 8 条①)
- ・ 「奈良県子ども読書活動推進計画」【県】(同法第 9 条①)
- ・ 「斑鳩町子ども読書活動推進計画」【町】(同法第 9 条②)

■ 推進計画 2030 の目標

I 読書に親しむ機会の充実

家庭、地域、学校・園・関連施設や、町立図書館を通じて、子どもたちが読書に親しむ機会の充実を目指す。

II 読書環境、資料の充実・整備

子どもたちの読書活動を支援するために、学校・園・関連施設、町立図書館において、読書環境を整備し資料を充実させる。

III 連携・協働の推進

計画実施にあたり、地域、学校・園・関連施設、町立図書館が、連携・協働を推進する。

I 読書に親しむ機会の充実

家庭、地域、学校・園・関連施設や、町立図書館を通じて、子どもたちが読書に親しむ機会の充実を目指す。

【家庭、地域における読書の推進】

幼児期は、耳から入る言葉が言語能力を伸ばし、読書の基礎を作っていくと考えられています。子どもたちには、周囲の大人が絵本などを読むことが、とても大切です。絵本の世界を十分楽しんだ子どもは、次の読書の段階へと進んでいきます。この時期には読書を無理に勉強と結びつけず、大人自身も本を楽しむことで、その楽しさが子どもに伝わるようにしたいものです。

子どもの読書に関わる読書支援ボランティアは、情報交換を行い、町立図書館、学校、地域の集会施設などを利用し、読書支援の範囲を積極的に広げます。

【学校・園・関連施設における読書の推進】

幼稚園・保育園・認定こども園では、教諭や保育士が日常的に季節や行事にあった絵本や紙芝居を読み聞かせたり、絵本のコーナーを設置するなど、子どもたちが本に親しむ機会を作っています。また読書支援ボランティアに園に出

向いてもらい、おはなし会などを実施しています。これからも子どもたちが年齢や発達段階に応じて、日常的に本とふれあい、園で楽しみながら読書に親しめるよう、家庭・地域・図書館と連携して、多様な読書の機会を創出し、保育や遊びの中で効果的に絵本を活用します。

学校では、児童生徒の自発的・主体的な読書活動の充実を目指して、司書教諭を含む図書担当の教諭、学校司書および他の教職員が協力し、学校図書館を計画的に利用しながら、読書指導をすすめます。子どもたちが、自ら本を選んで読む経験や読書に親しむきっかけづくりのために、小学校では、週1回の読書の時間を割り当てて図書室を利用しています。さらに小中学校では、読書の楽しさを味わい、興味関心を持てるような取り組みを継続して行います。

その他、学童保育室では、それぞれの児童が自由に読書を楽しめる場を整えます。いずれも、読書支援ボランティアや町立図書館等と必要に応じ協力・連携し、目的の達成に努めます。

【町立図書館における取組み】

町立図書館では、子どもたちがいつでも読書を楽しむことができる空間と、読みたい本を自由に手にすることができる環境づくりに努めます。

図書館職員は、児童書に関する幅広い知識と、子どもの発達段階に応じた本を選択する技術向上のために、常に自己研鑽に努めます。

また、町立図書館では、さまざまな行事を通じて、子どもたちが本に出会い、親しめる機会を数多く提供するとともに、子どもの読書支援に役立つ案内をホームページに公開するなど、関係者への選書を支援します。

II 読書環境、資料の充実・整備

子どもたちの読書活動を支援するために、学校・園・関連施設、町立図書館において、読書環境を整備し、資料を充実させる。

【学校・園・関連施設の読書環境の充実】

学校・園・学童保育室等子どもが活動する施設の蔵書や読書環境は、その規模や、在籍している子どもの数などにより様々です。これらの施設について子どもが日常的に本と親しむことができる環境を整えます。整備に当たっては、

乳幼児や障がいのある子どもをはじめ多様な子どもに配慮した資料や読書スペースの充実を図ります。

また、加率的に変化する社会に対応するため、子どもたちは、あふれる情報の中から役立つものを集め、比較し、情報活用能力を身につけることが必要とされています。そのため、学びの場である学校図書館には児童生徒の読書指導の場である「読書センター」としての機能だけでなく、子どもたちの主体的な学習活動を支援し、授業の理解を深める「学習・情報センター」の機能が必要です。

学校図書館は、多様な蔵書を揃え、計画的に資料を利活用する施設として、町立図書館等とも連携・協働し、その実現につとめます。

さらに、子どもたちにとって身近な学級文庫は、適切な更新を目指します。

また、ICTの活用による電子図書等の運用もはかっています。

【町立図書館での取り組み】

町立図書館では、子どもたちにとって魅力のある絵本、読みものの充実に努め、利用が多い児童書は複本を購入します。調べ学習用資料は、学校のカリキュラムに対応した本を、内容・レイアウト等を多方面にわたって検討します。内容に応じ、紙の本だけでなく、電子図書も収集し提供します。

また、町立図書館は、学校・園・学童保育室等関連施設の読書活動を支援するため、資料の団体貸出を行うとともに、配送については定期便を運行します。

Ⅲ 連携・協働の推進

計画実施にあたり、地域、学校・園・関連施設、町立図書館が、連携・協働を推進する。

【連携および協働体制について】

地域と学校・園・関連施設、町立図書館は、定期的に本計画にもとづき「斑鳩町子ども読書推進計画調整会議」を開催し、斑鳩町の子どもの読書状況や図書利用における課題を共有し、協議をすすめていきます。また、学校図書館と町立図書館は、情報交換会を開催し、資料の選定・収集、保管・管理方法や図書館の運営などについて情報交換します。

また、子どもの読書活動推進には、読書支援ボランティアの協力が不可欠であり、新たなボランティアを育成するとともに、蓄積したノウハウを継承

していきます。町立図書館ではボランティアを支援する講座を今後も開催します。また、地域・家庭に対する子ども読書活動の推進については、広報「斑鳩」の「図書館だより」やホームページなどによる啓発に努めます。

■ 5年のあゆみ（令和3年度～令和7年度）

◇令和3年度

図書館で、町内の5歳児を園ごとにバスで招待し、読み聞かせや本の貸出を行う「図書館ご招待デー」が始まる（前期：5月～6月、後期：10月～11月）。

低学年までの子ども向けに図書館で「読書手帳」の配布を開始。

絵本講座「子どもたちが「読みたくなる」本の紹介って？ブックトーク？ブックトーク！」実施。

コロナ下でも、小学校図書室では堅調な利用が続く。

◇令和4年度

図書館で「斑鳩町子ども司書養成講座」（旧「1日図書館員体験」）開始。

図書館で「本の福袋」の貸出が始まる。

絵本講座「はじめての絵本の読み聞かせ」開催。

◇令和5年度

史跡中宮寺跡歴史公園のイベントで、図書館職員とボランティアによる「青空おはなし会～公園で紙芝居を楽しもう～」始まる。

5月8日 新型コロナウイルス感染症5類移行後、図書館の利用制限を一部緩和、入館制限を解除。児童向けの行事が段階的に再開される。

絵本講座「話そう！子どもはどんな絵本が好き？」ワークショップ開催。

◇令和6年度

認定「斑鳩町子ども司書」による「斑鳩町子ども司書クラブ」発足。

絵本講座「子どもが夢中になる紙芝居の演じ方」「わんどく I N いかるが」開催。

劇団いかるがによる「としょかんかみしばい劇場」始まる。

ブックスタート後日配布再開。

斑鳩南中学校で、朝読書で読んだ本の紹介POP作成に取り組む(全校生徒)。

また、校時表に昼休み時間が設定され、南中学校図書室の利用生徒数・貸出冊数が増加。

◇令和7年度

絵本講座「面展台をつくろう」ワークショップ開催。

3月、『斑鳩町子ども読書活動推進計画2030』策定。

◇令和3年度～令和7年度

「絵本からのメッセージ」（同実行委員会開催）（各年度講演：田島征三と今森光彦、長谷川義史とあおきひろえ、田島征彦、黒井健、長谷川義史）

■ 斑鳩町における子ども読書活動の現状

【地域（読書支援ボランティア）】

◆おはなしさんぽ

（昭和 58 年設立・7 名）



本と出会うことで、子どもたちの心の本棚にたくさんの本が並び、豊かな感性を育んでくれることを願い、活動している。月 1 回の定例会、月 1 回町立図書館の「土曜日のおはなし会」の他、保育園・幼稚園での人形劇、西小学校で本の読み聞かせを行っている。近年、おはなし会参加者の低年齢化にあわせ、選書やプログラム構成に一層力をいれてきた。幼児向けと思っていた絵本が、幼児のみならず様々な年齢層に応じた受け止められ方があるのをみて、作品が持つ奥行きを再発見している。定例会においては、児童書を中心とした読書会を行っている。

長い間の信頼関係から、メンバー同士の自由な語らいが生まれ、時には脱線を含めて、絵本選びも自ずと方向性が定まってくるように思える。

◆人形劇ゴロゴロ

（平成 4 年設立・10 名）

平成 25 年度まで、町内公民館図書室の運営をはじめ幅広く子どもの読書活動に取り組んできた斑鳩町読書研究会から派生し、人形劇を上演している。公民館まつり（中央公民館）、保育園や幼稚園で上演している。



◆ひこはな絵本の会

（平成 5 年設立・4 名）

子どもたちに大人と絵本を読んで過ごす時間に楽しさを感じてもらうことを目的に活動している。

町立図書館で 0～3 歳の子どもたちが対象の「水曜日のおはなし会」を月 1 回行っている。電子機器から聞こえてくる声が多い中、生身の人間が発する言葉の持つ空気感（音や響き）を意識し、絵本を交えて子どもたちが楽しく言葉を発す



ることができるように、また「めくる」「さわる」をたっぷりと体験してもらおうようにしている。絵本を見せながら話しかけてあげると赤ちゃんは絵を見たり、絵本を触ろうとする。月齢が進むにつれ絵本に目が向き、声を上げ、笑い、じっと絵を見るようになる。オノマトペを変えたり、みんなで一緒に声を出して楽しんでいる。絵本は幼い子どもだけのものではなく、大人も楽しめる総合芸術と考えている。

町内保育園・幼稚園のおはなし会にも参加するほか、図書館の事業「学校おはなし訪問」「えほんのひろば」等にも協力している。

◆おはなしのとびら

(平成 13 年設立・9 名)

主に図書館のブックスタート事業への協力を中心に活動している。

絵本には文字では表現できないたくさんの言葉がある。図書館でのブックスタートでは、読み聞かせをすることで、親子が一緒に本を楽しむ時間のぬくもりが、大切な「一生の心の宝物」になることを伝えていきたいと考えている。

そのような子どもたちの成長が私たちの喜びである。



◆斑鳩おはなしの会

(平成 18 年設立・11 名)



図書館主催「おはなしの語り手養成講座」の受講生が講座終了後グループをつくり、講座と同じ講師を招き、お話を覚え、語る勉強を続けてきた。聴く人と顔を合わせながら語ることで、お話の世界を一緒に楽しみ、町外の講座や発表会にも参加し交流している。

年 1 回子どもから大人までを対象に「ろうそくのおはなし会」(発表会)を開催している。高校や地域の福祉会にお話の出前も行う。

その他、図書館事業の「学校おはなし訪問」にお話の語り手として参加。図書館で年 4 回のストーリーテリングのおはなし会、年 2 回大人対象のおはなし会を実施してきた。

令和 5 年度からはたつた保育園でも、年 2 回お話の出前を行うようになった。3 歳からお話を聞いてきた園児さんが 5 歳になり、回を重ねるごとに

話を聞く力が育っていることを実感し、先生ともども驚いている。

覚える・語ることは大変だが、昔から人から人へと伝えられてきたお話を子どもたちと楽しみながら伝えられたらと思う。



◆斑鳩町図書室研究会

(平成 26 年設立・9 名)

小さい頃から本・絵本に触れ、楽しいもの、身なものとして親しんでいただく目的で活動し、斑鳩町公民館図書室の運営を受託してきた。

中央公民館図書室では幼稚園児（斑鳩）・保育園児（たつた）の来室を受け入れてきた。

また、メンバーで選書の勉強会も随時実施している。

◆斑鳩町子どもに本を読む・語る会

(平成 29 年設立・12 名)



町内の幼稚園・保育園に年齢別読み聞かせ、児童福祉施設への読み聞かせ訪問を行っている。子どもたちは耳からお話を聞き、絵を見ながら友達と一緒に笑ったり、ハラハラ・ドキドキしながら共感しあっている。読み聞かせをしていると、絵からイメージを膨らませようとする、その注意力に目を見張る。また、子どもたちが主人公から離れた場所に描かれている小さなものまで見ていること、知ろうとする意欲が旺盛なことなどにも驚かされる。会としては、その他、絵本の勉強会を実施し、町立図書館の行事に協力している。

◆劇団いかるが

(平成 10 年設立・ボランティア活動 8 名)



平成 10 年、いかるがホールの文化講座「演劇講座」の受講生を中心に結成された。平成 11 年第一回公演『ぼた餅地蔵』で旗揚げ、以来、斑鳩町の民話伝説を題材にした本公演を年一回、劇団による自由な作風による公演を年一回続けている。令和 4 年からは紙芝居による新たな表現活動に着手。保育園や特別養護老人ホームなどへ発表の場が広がり、令和 6 年からは斑鳩町立図書館でも「としょかんかみしばい劇場」を実施している。

【幼稚園・保育園・認定こども園】



◆斑鳩幼稚園

日常的に絵本に親しめるよう、担任が毎日必ず1冊は絵本の読み聞かせを行っている。物語の世界に触れる中で、子どもたちは自然と言葉や感性を育み、想像力を豊かにしている。また、地域の方による定期的な絵本の読み聞かせも実施し、子どもたちは世代を超えた温かな関わりの中で、本と触れ合う時間を楽しんでいる。さらに、年長児を対象とした図書館ご招待デーでは、実際の図書館に足を運び、自分の興味に合った本と出会う貴重な体験ができ、大きな喜びと成長につながっている。園内での貸出は行っていないが、日常の保育の中で本との関わりを大切にし、家庭とのつながりも意識しながら、子どもたちの読書活動を支えている。

◆斑鳩東幼稚園

絵本やお話に親しむことを大切に考え、保育の中で色々な形で絵本を取り入れたり、子どもたちが興味を示し、手に取りやすい場所に、園の本や図書館からの集配の本を配置している。また、斑鳩町子どもに本を読む・語る会の方に来ていただき、読み聞かせや手遊びなどを通して楽しく関わらせていただき、読んでもらった本や様子を保護者に知らせ、家庭と子どもと絵本が繋がることのできるようにしている。日々の活動の中でこれからも、子どもたちが絵本やお話に親しめるような機会を考えていきたい。



◆斑鳩西幼稚園（令和5年度末 閉園）

図書館ご招待デーはたった6名だったが、バス送迎がとてもありがたかった。時間、内容もちょうど良く絵本を最後まで楽しんで見ることができた。配布物で読んだ本の名前を紹介して下さっているので親子の会話のきっかけになり、1ヶ月貸してもらえ自分が借りた本以外も友達と交換して読んでいた。子どもたちは「いろんな絵本があってすごくワクワクした」「本を選ぶのが楽しかった」「また行きたい」と話し、保護者の方からも楽しみにしていたと聞いた。今後この経験が親子で図書館に行くきっかけになってくれればと思っている。（「令和5年度図書館ご招待デー報告」より図書館記載）



◆法隆寺幼稚園

日々の保育の中で、絵本の活用を行い、絵本や紙芝居、図鑑に触れる機会をたくさん設けている。

例えば作品づくりの導入や生活面の指導にも活用したり、読書支援ボランティアにも来ていただき、楽しい時間を過ごしている。

食育にも絵本を取り入れるようになり、毎月1冊の絵本をテーマにした、かわいくておいしい絵本給食の日がある。食を通して、絵本の世界観を感じ、絵本から食について考える良い機会になっており、園児達にも大人気である。

また、図書館を訪問したり、図書館からの団体貸出本を活用して、幼稚園の絵本や紙芝居・月刊絵本と合わせ、多くの絵本に触れることが出来ており、園児たちの心と身体の豊かな成長にかかせないものになっている。

◆あわ保育園



町立図書館からの団体貸出本や、担任保育士が図書館で借りた絵本を活用し、日常的に園児たちに読み聞かせをしている。また、園児達が自分で読みたい絵本を選んで読むことができるように各クラスにコーナーを設けている。

その他、0～2歳児は年に1回、3～5歳児は年2～3回、読書支援ボランティアによる読み聞かせや人形劇の鑑賞を行っている。

- ・5歳児は、図書館ご招待デーでの司書による読み聞かせや貸出を利用。
- ・3～5歳児は、町立図書館に出向き司書の読み聞かせを楽しんだり、借り受けた本を家庭に持ち帰り親子で読み聞かせの時間を楽しんでいる。

◆たつた保育園

日常の保育に積極的に絵本を活用し、読み聞かせをしている他、次のような読書活動を行っている。



- ・全園児：ボランティアの方による『絵本のひろば』を開催。
- ・3～5歳児：「斑鳩おはなしの会」の方による『素話』
- ・0～2歳児：保護者会からの記念品として絵本40冊を寄付いただき、新しい本を手にする。

る嬉しさを味わえている。今後も増やしていきたい。

- ・5歳児が0～2歳児のクラスに読み聞かせをする機会を継続していく。
また、中央公民館図書室を訪問し、さまざまな本にふれあう機会を充実していきたい。

◆斑鳩黎明保育園

園児の読書活動を豊かにし、保護者と園児の読書による絆を深めるために『こんぶ文庫』を開園当初から設置している。こんぶ文庫では、絵本約800冊、紙芝居約140冊を設置している。送迎時本を手に取り、親子で楽しむ時間として活用され、毎年約1000冊以上の貸し出しがある。また、保育時間中の保育士による紙芝居や絵本の読み聞かせ



は子どもたちにとって大好きな時間となっている。保育園で読んでもらった本を借りたり、特に4・5歳児のクラスでは英語絵本の読み聞かせもずっと続けている。色々な絵本に出会い楽しむ姿が多くみられるようになった。また、読書支援ボランティアによる読み聞かせ会、5歳児の図書館ご招待デーも利用させていただき、本に親しむ機会づくりとなっている。

◆レイモンド斑鳩こども園（令和6年4月1日開園）

ホールなどの共有スペースに絵本コーナーを設置し、子どもたちが好きな時に絵本を手に取り読めるようにしている。また、登降園時には親子で触れ合える憩いの空間となっている。



各クラスの絵本コーナーにはその時々季節や子どもたちの興味に合わせて保育教諭や子どもたち自身が絵本を選び、コーナー環境を整えながら絵本に触れる機会をつくっている。

開園から保護者や職員からの寄付や、子どもたちへの育ちをとらえ願いをこめた絵本の購入によって冊数を増やし、多くの絵本との豊かな関わりを楽しんでいる。

【小学校・中学校】

◆斑鳩小学校



本校では毎日、業間休み・昼休みの 20 分間、図書委員による図書の貸出・返却をしている（常時活動）。選定は、学校教員や図書委員が随時行っている。図書委員会では、読み聞かせ、おすすめの本の紹介、クイズ、ポスター作製、スタンプラリー、しおりプレゼント、ランキング作成などの活動もしている。学校ボランティア「メロンパン」には、月 2 回の読み聞かせ、図書室や本棚の整理・掃除、本の修理等の活動をしていただいている。

また、図書館の除籍図書をリサイクルしたり、PTA の協力を得て購入し、学級文庫の充実にあてている。

◆斑鳩西小学校



図書室は毎日、業間・昼休みに開室し、図書委員が本の貸出・返却を行っている。朝の読書の時間は設けられていないが、週に一回、各クラスに図書室の利用の時間を配当し、読書の時間としている。

学校ボランティアの方には毎学期に一回、朝の時間に本の読み聞かせ（1～3年生向け）を行っていただいている。

図書委員は他にも、低学年への読み聞かせ、おすすめの本紹介の掲示や読書クイズの作成などの活動を行っている。

また、「えほんのくに」を年に一回開催し、児童たちが自由に絵本に親しめる空間を作っている。

◆斑鳩東小学校



令和4年度 図書室のパソコンが新しくなった。

令和6年度 分類ごとに本の並び替えをしたことにより、児童も学校図書館司書も、本を探しやすくなった。

図書委員会活動の一環として、毎日業間と昼休みに図書室を開室している。委員会活動として、カードを作ってスタンプラリーをしたり、お勧めの本を紹介するカードを作ったりして、本に触れる機会を増やせるようにしている。図書委員会の児童が低学年の教室に読み聞かせに行った。

毎週火曜日には、学校ボランティアの方に読み聞かせをしていただいでいて、児童は楽しみにしている。

コラム 学校の読書活動に関する仕事①

－小学校の読書活動について：図書担当教諭からみた成果と課題－

本が身近にある環境があり、読書に対して肯定的な意見をもつ児童が多くいる。また、多くの種類の本があり、読みたいときに自分なりに選んで読むことができている。ただ、日頃の読書では、同じ本を繰り返し読んだり、活字の少ない図鑑や漫画形式の本を好んだりする児童が多くいる。

より多様な読書活動を進めていくうえでいろいろな種類の本を読む機会をさらに作っていく必要があると感じる。図書委員会の活動を通じてより多くの本にふれる機会を作っていきたい。

野村 暢子（斑鳩小学校教諭）

大塚 萌実（斑鳩西小学校教諭）

丸岡絵里子（斑鳩東小学校教諭）

—小学校図書館司書の仕事：学校図書館での成果と課題—

近年、児童からの本のリクエストを聞いていると、以前と比べて情報源が多様化していると感じます。小学校でタブレットの使い方を学び、インターネット上から様々な情報に接しているようです。その中で児童からの要望をくみとって提示できるかが課題のひとつです。

また、本を借りる以外に「静かな環境」で読書しに来室する児童もいます。落ち着いて読書できる場所、環境を整えることも必要とされていると感じます。

令和6年に斑鳩東小学校の図書室の配架を分類別に変更したことも、児童をはじめ、図書室を利用する人にとってより使いやすいものにする環境整備の一つです。学習に必要な資料、子どもたちの興味をひく資料、読書を楽しめる環境、それぞれ整えることで、これからも学校の図書室を利用しやすい場所にしていきたいと考えています。

中里弘恵（小学校図書館司書／斑鳩小学校・
斑鳩西小学校・斑鳩東小学校兼務）

◆斑鳩中学校



学校司書、図書委員、司書教諭、図書館担当教員が協力して運営している。図書委員会では、図書館だよりの発

行や、「おすすめ本」の紹介など、読書の楽しさを広める活動を行っている。また、学級文庫をコンテナに入れて、各学級に配置し、身近に本のある環境を整えている。このほか、学校司書が中心となって、図書館内に特設コーナーを設け、ブックリストに掲載している本や図書委員のおすすめの本の展示を行っている。今後の利用に関して、調べ学習や主体的な取り組みに向けて、利用者が使用できるパソコンなどの ICT 機器の導入を検討していければと考えている。一方で図書館の運営に携わる人的、時間的不足が慢性化しており、今後、図書館運営を続けていくうえで、大きな課題である。

◆斑鳩南中学校



毎日昼休みと火・木曜の放課後に、図書委員と司書教諭、図書担当教諭、学校司書で図書室を開室している。図書室前の掲示物の工夫や、図書だよりを発行することにより、利用者数や貸出冊数は増加している。また、朝読書の時間に読んだ本の紹介 POP を全校生徒が作成し、図書室前廊下に掲示することで、本への興味関心を高めている。

国語科の授業や総合的な学習の時間の活動などで図書室を利用することも多く、以前から継続して行っている朝読書の時間だけでなく、休み時間や昼休みも読書をしている生徒が増えてきた。

コラム 学校の読書活動に関する仕事②

—中学校の読書活動について：図書担当教諭からみた成果と課題—

- ・専門知識をもった学校司書が専任となり、書架の整備が行き届き、本の鮮度が保たれるようになった。
- ・学校司書が読書活動の推進に積極的に携わり、図書の紹介や、図書館オリエンテーションが適切な時期に行われるようになった。
- ・図書委員会の活動（図書館の本の貸出、返却）時に、図書担当の教員の手が空いていない場合でも学校司書がいることで委員会活動が滞りなく進むようになった。

奥田 有佐 （斑鳩中学校教諭）

菅原 崇司 （斑鳩南中学校教諭）

—中学校学校図書館司書の仕事：学校図書館での成果と課題—

中学校の図書室を利用する生徒が求める図書は実に様々です。最新の読み物や学習のための図書はもちろんですが、心の問題や進路に関する情報、工学や生物学などの専門性の高い知識を得たいとやってくる生徒も少なくありません。そんな生徒たちの

悩みや好奇心に、的確に応えられる図書室を目指し、環境整備を進めています。

蔵書の計画的な更新を継続すること、そして、なかなか進めることのできていないICTの活用について、生徒にとって有用な方法を慎重に模索していくことが必要であると考えています。

蒲生 尚子

(中学校図書館司書／斑鳩中学校・斑鳩南中学校兼務)

【関連施設】

◆学童保育室



町立図書館の団体貸出本や学童保育室所有の本を、子どもの手が届きやすい高さの本棚に並べ、自主学習や自由遊びの時間、雨の日などに読んでもらえるようにしている。

新入生を中心に絵本の読み聞かせを行い、保護者会が主催する夏のつどいやクリスマス会などの行事において、大型絵本や紙芝居を用いて読み聞かせを行う学童保育室もある。

◆子どもと親のフリースペース“くるむ” (令和5年開室)



学校に行きにくい子どもたちの居場所となるよう令和5年9月にフリースペース“くるむ”を開設した。施設の環境を充実させるため、令和6年に町立図書館より4台の面展台で図書コーナーを設置していただいた。図書約30～50冊を定期的に入れ替え、貸し出しもできる。また、子どもが希望する図書についての個別対応もしてもらっている。遊び道具もあるが、届く図書の種類が、毎回子どもたちの興味・関心に即しており、特に写真集・絵本や図鑑、製作等の図書は大好評で、子どもとスタッフ、親の間に会話が弾み、子どもたちにとって新たに視野が広がる一助となっている。

◆斑鳩町保健センター

(平成 27 年度からブックスタート後日配布に協力開始)

ブックスタートに来られなかった赤ちゃんと保護者を対象に絵本を手渡すブックスタート後日配布を、図書館が1歳6ヶ月児健診会場で行うようになり、事業協力してきた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため健診・後日配布は数年中断したが、令和6年度から同事業再開の際、健診の待ち時間を利用し、子どもと保護者に図書館職員が読み聞かせするコーナーが試行で設けられた。



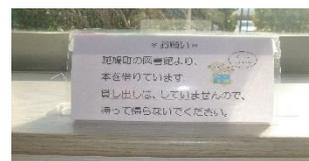
令和7年度からは、図書館からの団体貸出による配本が始まり、幼児健診時に子どもと保護者が自由に絵本を手にとることができる絵本コーナーを各所に設置できるようになった。その他、図書館で健康推進のための図書展示を定期的に協働で実施している。

◆つどいの広場

(令和7年度から団体貸出開始)

3歳までのお子さんと保護者を対象に開催している。

令和7年度から、つどいの広場に来る子どもたち用に、町立図書館から年4回絵本の配本を受けるようになった。



【町立図書館】

◆主催事業

◇ブックスタートの実施



ブックスタートは、赤ちゃんと保護者が、絵本を介してゆっくりふれあうひとときを持つきっかけをつくることを目的として行う事業である。

斑鳩町では平成15年度から保健センターで本事業を始め、平成19年9月からは図書館で実施している。

斑鳩町で毎年誕生する赤ちゃんは、ここ数年約210人で推移している。町

立図書館では、6～8 ヶ月のお子さんと保護者を対象に行い、ボランティアの協力のもと、絵本を手渡すだけでなく、絵本をひらく楽しい時間を実際に体験してもらっている。

また、町立図書館でのブックスタートに参加できなかった親子を対象に、平成 27 年度から、健康対策課（保健センター）の 1 歳 6 か月児検診で、絵本の後日配布を行ってきた。ブックスタート、後日配布ともに新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため一時郵送配布を余儀なくされたが、令和 6 年度には全面的に再開し、ブックスタートの趣旨である「地域すべての赤ちゃん」と保護者に絵本を手渡す」をほぼ達成している。

◇おはなし会の開催

読書支援ボランティアの協力のもとに実施している。

- ・「水曜日のおはなし会」〈毎月 1 回〉

（乳幼児対象・ひこはな絵本の会）

ブックスタートを受けた親子の参加が多い。保護者にとっては、読書支援ボランティアや他の保護者との交流の場となっている。

- ・「土曜日のおはなし会」〈毎月 1 回〉

（幼児～小学生中心・おはなしさんぽ）

家族連れの参加が多い。皆が楽しめるように、手遊びや参加型の絵本を使うなどの工夫をしている。

- ・「ストーリーテリングのおはなし会」〈年 4 回 春・夏・秋・冬〉

（5 歳以上・斑鳩おはなしの会）

昔話などの物語を、語り手が覚えて自分のものとし、本を見ないで語る。令和 3 年度以降、「大人のためのおはなし会」も開催している。

- ・「としょかんかみしばい劇場」

（幼児～小学生中心・劇団いかるが）

普段舞台公演で活動する劇団いかるがによる紙芝居。令和 6 年度からはじまった。季節もの、昔話、参加型の紙芝居を迫力満点に演じる。

◇「斑鳩町子ども司書」養成講座、「斑鳩町子ども司書」クラブ



小学校 5.6 年生向けに行っていた旧「1 日図



「司書体験」をリニューアルし、令和4年度から開講。年4回の講座で、カウンター業務・図書の配架等から始まり、POPづくり、崩し字体験、読み聞かせ実習など本格的な司書の仕事を体験する。「斑鳩町子ども司書」認定後は、有志の認定司書たちで活動する「斑鳩町子ども司書」クラブ

において、ブックスタート体験や絵本講座の補助、福袋づくり、おすすめ本コーナーの作成、おはなし会の開催など、相談しながらボランティア活動を行っている。

◇えほんのひろば／えほんならべ展



「えほんのひろば」では、手づくりの絵本平置き台(ダンボール製面展台)を会場に複数台配置し、子ども同士・子どもと大人、あるいは大人同士が一对一で絵本・写真集・図鑑等を読みあう。

平成19年度以降、ボランティアと小中学生が、町立図書館・町内保育園で小さな子どもたちとともに絵本を楽しんできた。その後町内に広まり、小学校でも「えほんのひろば」(えほんのくに)が実施されてきた。この5年間は感染症対策で中断したが、新型コロナウイルス感染症5類移行後に徐々に復活し、現在、斑鳩西小学校、たつた保育園でこの催しが行われている。

町立図書館では、「えほんのひろば」用絵本(約300冊)と面展台を小学校、保育園等に貸出したり、読み手のボランティアを派遣し開催をサポートする。子ども司書を含むボランティアと町立図書館共催でテーマ絵本を展示し来場者に楽しんでもらう「えほんならべ展」も始めた。

◇絵本講座



読書活動の充実を目指して、専門家による講演会や読み聞かせの講座等を行っている。子どもの読書活動に関わる人材の育成、新たな読書支援ボランティアの開拓などを目的としている。専門機関として地域の読書活動の核になるよう情報を発信する。

◇ 斑鳩町電子図書館

電子図書館サービスは、図書館利用が困難な人に応えるサービスとして、自宅のパソコンやタブレット、スマートフォンを使って読書ができるサービス。平成 29 年度から開始し、読み聞かせする動く絵本や、YA（ヤングアダルト）向けのライトノベル、調べ学習向きの電子書籍などを購入してきた。新型コロナウイルス感染症等の感染症予防対策に応えるサービスとしても利用されている。

◆学校・園・関連施設との協力事業

◇団体貸出

・『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2005』では、学校・園に対する図書館資料の大量貸出を目標としていた。その後貸出図書の内容、図書の集配、貸出期間などの課題を校・園連絡会で協議を行い、平成 18 年度から配送が始まった。

平成 30 年度からは、学童保育室への団体貸出を開始した。現在、各学校・園・学童間を 1 カ月に 1 度の間隔で巡回し、セット本貸出の配達、貸出希望本の配達、返却本の回収を行っている。セット本は 1 回あたり約 60～80 冊（中学校は 20 冊）を配本している。

- ・その他、「総合的な学習の時間」などの資料相談に応じるとともに、授業や読み聞かせ等に使用する資料の貸出を行っている。
- ・令和 6 年度からは、子どもと親のフリースペース“くるむ”、令和 7 年度には、保健センター、つどいの広場への図書館資料の配本も始まった。

◇図書館ご招待デー



就学前の子どもが本とふれあい、公共マナーを学ぶ取り組みとして、町内 5 歳児を対象に、幼稚園・保育園・認定子ども園ごとにバス等で町立図書館へ招待し、絵本の読み聞かせ、本の貸出を行う事業を行っている。また、訪問時に読んだ本の記録を可視化し、読書意欲を高めることを目的に読書手帳を配布している。

◇園児の来館利用

町立図書館

- ・あわ保育園の園児が、年に数回町立図書館を直接訪問。本の閲覧や貸出を行う。

中央公民館図書室

- ・斑鳩幼稚園、たつた保育園の園児が本の貸出・返却に来室。

◇見学の受け入れ

- ・小学校3年生「図書館見学」（遠足・社会科見学）



図書館フロア案内、カウンター、歴史資料室、図書館についての質問タイムの4つのコーナーを紹介することで、公共図書館の役割を理解し、関心をもってもらおう。

◇町立図書館職員の訪問

- ・「学校おはなし訪問」



小学校3年生の「図書館見学」に答礼する形で、希望する学校に、図書館の読書支援ボランティアとともに訪問し、1校時間内で、絵本の読み聞かせとストーリーテリングを行う。

◇職場体験の受け入れ

- ・奈良県立養護高等学校

職場体験を通して、生徒自身が仕事として働くことについて学ぶ。

◆読書支援ボランティアとの連携

◇団体貸出

読み聞かせ訪問や、おはなし会に伴う本の貸出を行っている。

◇図書館事業のための協力（図書館ボランティア）

「ブックスタート」「学校おはなし訪問」「えほんのひろば」「おはなし会」等の図書館事業での読み聞かせなどを行う。

◆地域、学校・園・関連施設、町立図書館間の連絡会の開催

◇「斑鳩町子ども読書活動推進計画調整会議」の開催

地域（読書支援ボランティア）、小・中学校、幼稚園・保育園、認定こども園、学童保育室、町立図書館間での連絡会を定例化している。現在は、子どもの読書や総合学習にともなう学校と図書館の情報交換、学校・園・関連施設や関連団体への団体貸出本の内容協議などを行う。

◇「図書館と学校図書館の情報交換会」の開催

令和5年度から開始。町立図書館、学校図書館の読書環境の向上に向け、図書館と学校司書が情報交換を行う。

附 属 資 料

— 図・表で見る 5 年間の成果と課題 —

附属資料 1	斑鳩町の子ども読書活動の成果と課題……………26
附属資料 2	斑鳩町の子ども読書推進活動 イメージ図……………27
附属資料 3	町立図書館 児童サービス一覧（対象・機関別）……………28
附属資料 4	「斑鳩町子ども読書活動推進計画」関連の図書館実績 町立図書館 平成 21・26・令和元・6 年度……………29 小・中学校学校図書館 令和 2 年度～令和 6 年度……………30
附属資料 5	現況調査① 小・中学校……………31 現況調査② 幼稚園・保育園・認定こども園・関連施設……………33 現況調査③ 読書支援ボランティア……………37
附属資料 6	町立図書館から学校・園・関連施設への集配スケジュール ……………39

2025までの成果

- 関係者による推進会議や情報交換会の開催により、町内の子ども読書活動の情報連携および課題共有が進んだ。
- 図書館による「くるむ」「つどいの広場」「乳幼児健診」等への団体貸出を活用した配本開始により、子どもたちに本を届ける拠点が増加した。
- 図書館ご招待デー等（図書館と学校・園との連携行事）により、子どもの図書館訪問機会が増加した。
- 読書手帳（図書館）やスタンプラリー（学校図書室）の仕組みを導入したことにより、読書に親しむ機会を創出した。
- 斑鳩町子ども司書（図書館）、図書委員会活動（小・中）により、子どもの視点に立った読書活動が推進された。
- 学校司書の配置により、読書、学習に必要な資料の充実と読書環境の整備が進むとともに効率的・効果的な授業用資料の充実に寄与した。
- 読書活動団体の各施設への訪問や保護者による読み聞かせが活発化した。（幼児期から小学校における地域全体での読書支援体制が強化された）

課題

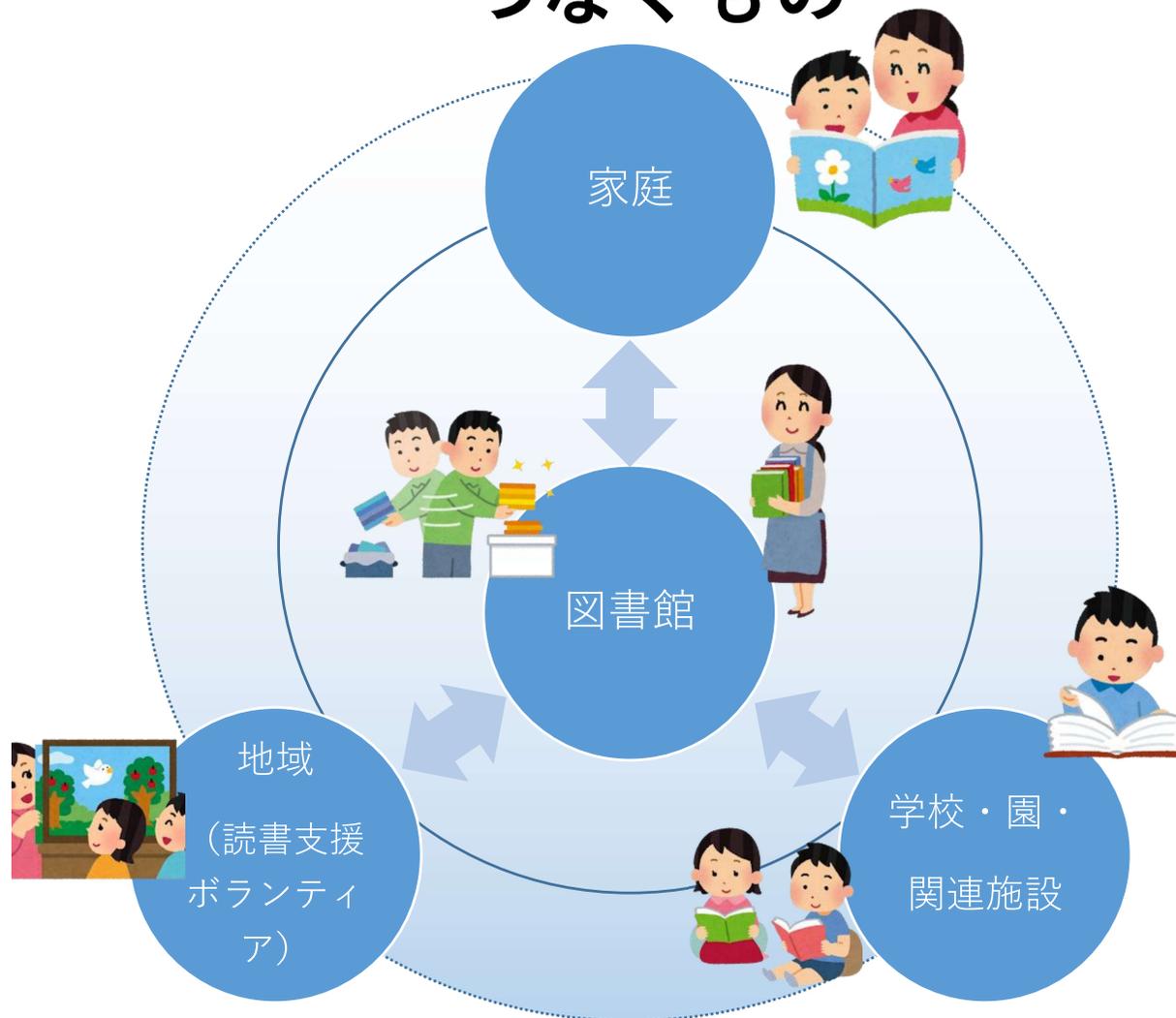
- 団体貸出提供希望図書の重複（季節の本、人気本など）
- 百科事典、図鑑等高額図書（小・中）、進路に役立つ専門性のある図書の更新（中）
- ICT化等デジタル社会に対応した読書環境の整備
- 本棚等備品類の老朽化への対応（小）
- 図書室の開室時間の拡大（小・中）
- 活字の少ない図鑑や漫画形式の本に偏った読書をする児童への対応（小）
- 多様なニーズをもつ（支援が必要な）子どもたちへの読書機会の確保
- 読書支援ボランティアの高齢化と図書館おはなし会参加者の減少
- 家庭や地域における読書活動の重要性に対する理解を深めるための成果の可視化

対策

- 子どもたちの身近な施設（園等）への図書の常設
- 図書費+参考図書費の継続的・計画的な計上（小・中）
- ICT関係の研修機会の充実
- 図書室の備品点検と備品更新計画の策定（小）
- 週5日開室に対応できる担当者（司書）確保
- 子どもの視点に立った読書活動の推進と多種多様な図書資料を読む機会の創出。
- 静かな読書環境の整備、多文化図書、LL（ILIL）ブック（やさしく読める本）等個別ニーズに応じた団体貸出の実施
- 読書支援ボランティアの活動周知とイベントのマッチング、保護者の読書支援活動サポート
- 学校で作成したPOP（ポップ：本の紹介）等の学校以外の場所（公共施設等）への掲出、HPでの読書活動情報の発信と周知、広報等

斑鳩町子どもの読書活動推進 イメージ図

読書は心と心、人と人をつなぐもの



町立図書館 児童サービス一覧 (対象・機関別)

家庭

貸出・レファレンス (読書相談)

おはなし会

ブックスタート・ブックスタート後日配布

えほんのひろば・ならべ展

子ども読書の日関連展示

青空おはなし会

読書手帳の配布

「本の福袋」の貸出

地域 (読書支援ボランティア)

団体貸出

レファレンス (おはなし会準備等)

絵本講座

園

団体貸出

レファレンス (読書相談)

図書館ご招待デー (5歳児)

学校

団体貸出

レファレンス (調べ学習)

図書館見学 受け入れ (小3)

学校おはなし訪問 (小3)

斑鳩町子ども司書養成講座 (小5、小6)

斑鳩町子ども司書クラブ (小6～中3)

関連施設

団体貸出

レファレンス (リクエスト)

「斑鳩町子ども読書活動推進計画」関連の図書館実績

附属資料 4

●町立図書館 平成21・26・令和元・06年度^注

注：令和5年度から、貸出対象者を県内在住→町内在住・在勤・在学者に変更

◆児童書の蔵書冊数の推移

	(単位:冊)
	児童書冊数
平成21年度	52,429
平成26年度	55,464
令和元年度	59,099
令和06年度	60,497

児童書の蔵書冊数は漸増している。

◆児童書個人貸出冊数の推移

	(単位:冊)	
	自治体内個人貸出冊数	うち児童書
平成21年度	276,076	☆103,529 (☆参考値:町外含)
平成26年度	248,017	71,397
令和元年度	206,678	62,029
令和06年度	189,309	64,661

個人貸出の減少にもかかわらず、児童書の個人貸出は増加している。

-29-

◆児童登録者数の推移

	(単位:人)			
年齢別	0~6歳	7~12歳	13~15歳	計
平成21年度	391	1,112	581	2,084
平成26年度	602	1,298	736	2,636
令和元年度	398	1,228	722	2,348
令和06年度	525	1,104	685	2,314

0歳から6歳の児童登録者数が再び増加している。

◆団体貸出の推移

	(単位:団体数)	(単位:冊)
	登録団体数(児童関係)	児童書貸出冊数
平成21年度	19	6,429
平成26年度	25	9,136
令和元年度	26	7,808
令和06年度	28	7,808

登録団体が微増、貸出冊数も維持されている。

「斑鳩町子ども読書活動推進計画」関連の図書館実績

●小学校・中学校 学校図書館 令和2年度～令和6年度

令和2年度	利用回数	貸出冊数	児童一人当貸出	町立図書館からの借受冊数	令和2年度	利用回数	貸出冊数	生徒一人当貸出	町立図書館からの借受冊数
斑鳩小学校	1,050	17,578	26	343	斑鳩中学校	0	539	2	120
斑鳩西小学校	488	10,208	23	261	斑鳩南中学校	24	1,525	5	120
斑鳩東小学校	918	13,625	26	246	計	24	2,064		240
計	2,456	41,411		850					
令和3年度	利用回数	貸出冊数	児童一人当貸出	町立図書館からの借受冊数	令和3年度	利用回数	貸出冊数	生徒一人当貸出	町立図書館からの借受冊数
斑鳩小学校	1,050	14,442	22	423	斑鳩中学校	4	1,106	3	153
斑鳩西小学校	500	10,641	25	365	斑鳩南中学校	12	1,970	6	130
斑鳩東小学校	522	12,818	26	278	計	16	3,076		283
計	2,072	37,901		1,066					
令和4年度	利用回数	貸出冊数	児童一人当貸出	町立図書館からの借受冊数	令和4年度	利用回数	貸出冊数	生徒一人当貸出	町立図書館からの借受冊数
斑鳩小学校	1,050	17,263	27	532	斑鳩中学校	4	1,735	5	121
斑鳩西小学校	500	9,514	23	180	斑鳩南中学校	12	1,679	5	133
斑鳩東小学校	595	11,513	24	493	計	16	3,414		254
計	2,145	38,290		1,205					
令和5年度	利用回数	貸出冊数	児童一人当貸出	町立図書館からの借受冊数	令和5年度	利用回数	貸出冊数	生徒一人当貸出	町立図書館からの借受冊数
斑鳩小学校	1,050	15,466	24	447	斑鳩中学校	4	1,735	6	126
斑鳩西小学校	560	9,294	23	592	斑鳩南中学校	12	1,679	5	135
斑鳩東小学校	610	10,779	22	246	計	16	3,414		261
計	2,220	35,539		1,285					
令和6年度	利用回数	貸出冊数	児童一人当貸出	町立図書館からの借受冊数	令和6年度	利用回数	貸出冊数	生徒一人当貸出	町立図書館からの借受冊数
斑鳩小学校	1,045	16,363	26	260	斑鳩中学校	8	1,835	5	72
斑鳩西小学校	560	7,183	19	470	斑鳩南中学校	28	2,081	6	65
斑鳩東小学校	630	8,267	18	420	計	36	3,916		137
計	2,235	31,813		1,150					

(『学校図書館調査票』をもとに作成)

現況調査 集計結果① 小・中学校

学校名	学校図書室について								「図書室だより」の発行	協力ボランティアの仕事は？
	学校図書室の開室時間	担当者	図書室を総合学習・読書の時間等で活用している場合、どのような時間に、どんな資料を使用しているか	図書室蔵書冊数(冊) (R6年度末)	図書室の図書費		貸出冊数(冊)			
					年度	予算	年度			
斑鳩小学校	業間休み・昼休み(20分ずつ)、学校司書の滞在日は一日中、担任担当の授業時間	図書委員会・学校司書・図書委員会担当教員	中学年では、それぞれの調べたい地域の資料や図書資料を参照している。高学年では、世界の国の歴史や平和学習・ユニバーサルデザインについて図書館で学習している。	12,487	令和2	60万円	令和2	17578	年3回発行(各学期1回)	書架見出し・飾り付けなど 図書の補修 昼休みの読み聞かせ
					令和3		令和3	14442		
					令和4		令和4	17263		
					令和5		令和5	15466		
					令和6		令和6	16363		
					令和7					
斑鳩西小学校	業間休み・昼休み、学校司書の滞在日は一日中	図書委員会・学校司書・図書委員会担当教員		11,756	令和2	60万円	令和2	10208	年3回発行(各学期1回)	低学年対象に本の読み聞かせ(令和6年度から再開)
					令和3		令和3	10641		
					令和4		令和4	9514		
					令和5		令和5	9294		
					令和6		令和6	7183		
					令和7					
斑鳩東小学校	業間休み20分 昼休み30分 学校司書の滞在日は一日中	図書委員会・学校司書・図書委員会担当教員	(総合学習)…環境、米作り、国際理解、キャリア教育、平和、福祉 等 (社会)…歴史、地理、産業、昔の暮らし、世界遺産 等 (国語)…漢字、ことわざ、辞典、俳句、詩、教科書にでてくる作者の本 (図工・生活科)…海の生き物、虫の図鑑 (読書の時間)…絵本、読み物	11,544	令和2	60万円	令和2	13625	年4回発行	毎週火曜日始業前の本の読み聞かせ(全学年順番に実施)(令和7年度から毎木曜日も追加)
					令和3		令和3	12818		
					令和4		令和4	11513		
					令和5		令和5	10779		
					令和6		令和6	8267		
					令和7					
斑鳩中学校	月(隔週)・水・金 昼休み10分 放課後30分	学校司書 図書委員(生徒) 図書担当教員 司書教諭	(国語)図書室のオリエンテーション (総合)修学旅行前の調べ学習 (国語)辞書、事典の使い方 (音楽)伝統楽器についての調べ学習 (道徳)補助資料として絵本を活用 など	15,702	令和2	50万円 (令和3年～)	令和2	539	年4回発行	(ボランティアの協力無)
					令和3		令和3	1970		
					令和4		令和4	1735		
					令和5		令和5	2013		
					令和6		令和6	1835		
					令和7					
斑鳩南中学校	月/昼休み10分、放課後30分(隔週) 水・金/昼休み10分 火・木/昼休み10分、放課後30分	学校司書 (月・火・木) 図書委員 図書担当教諭 (月・水・金)	(国語)図書室のオリエンテーション (国語)辞書、事典の使い方 (道徳)補助資料として絵本を活用 (国語)読書の時間	12,900	令和2	50万円 (令和3年～)	令和2	1525	月1回発行	新刊図書の装備
					令和3		令和3	1106		
					令和4		令和4	1679		
					令和5		令和5	1694		
					令和6		令和6	2081		
					令和7					

学校名	子どもの読書活動について				
	ICT化状況	この5年間の学校での読書環境の変化	学校での子どもの読書に関する活動	学級文庫の活用状況	子どもの読書活動を進める中での課題、希望
斑鳩小学校	図書室事務用端末あり(ネット可)	机は、前(カウンター)向きで、一人ずつ座れるようになってきている。火・金曜日に読書の時間をとっている。	<ul style="list-style-type: none"> 朝の読書活動 図書の時間 学級文庫(PTAから補助あり) 担任の絵本の紹介の開催 低学年の担任による読み聞かせの時間 ボランティア、図書委員会による読み聞かせの時間 本の紹介、図書クイズなどの実施 	図書館や図書室の廃棄本をもらったり、PTA予算で学年で1万円分購入している。	<ul style="list-style-type: none"> 図書室内の設備(本棚、机、いす)の劣化が見られる。
斑鳩西小学校	図書室事務用端末あり(ネット可)	<ul style="list-style-type: none"> 司書配置(3小兼務)、児童の本の相談可能に 各学年に応じて、ブックトーク 図書室だよりを年3回発行 図書ボランティアの読み聞かせが、昼だけでなく朝の時間にも可能になった(1~4年生) 開室時間は変更なし 	<ul style="list-style-type: none"> 各クラスに読書の時間を配当(週1回) 学級文庫の本の購入 校内(南校舎1階)に、子ども新聞の閲覧コーナーを作成 	休み時間等に児童が手にとっている。	<ul style="list-style-type: none"> 図書室内の設備(本棚とくに棚板、机、いす)の劣化が見られる。
斑鳩東小学校	図書室事務用端末あり(ネット可)	<ul style="list-style-type: none"> 図書室の環境整備…毎年蔵書点検を行っている。おすすめの本や本に関わるクイズなど掲示している。 長期休業中の貸出冊数を増やした 学級文庫を毎年、PTAより補充してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読(火・木) 読書の時間 学級文庫の充実(町立図書館のリユース本・PTA会費より本購入) ボランティアによるおはなし会(週1回) 図書委員による読み聞かせ 図書委員のおすすめ本の紹介 本の福袋 読書クイズ、スタンプラリー 	朝読や、休み時間の読書に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> 図書室内の設備(机、カーテン等)の劣化が見られる。 児童が使用しやすいよう、資料を適正に。
斑鳩中学校	図書室事務用端末あり(ネット可)	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍によって図書館の来室者が減っていたが、徐々に戻りつつある。 学級文庫に、年1回図書委員のおすすめの本を入れるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読(1・2年) 様々な特集に応じた関連図書の展示 学級文庫の整備(コンテナ巡回) 図書委員によるおすすめ本の広報 年度末に「たくさん読んで賞」の発表 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとに本を替え、20冊ずつ図書委員が管理する形で運用。 朝読書の時間に利用する生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> エアコン更新(3台中2台故障) ドアが重たく、開けにくい。
斑鳩南中学校	図書室事務用端末あり(ネット可)	図書費が減額されたことにより、図書の更新に影響が出ている。授業での利用(国語科)が増えたことにより、自主的な来館も増加した。	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書(1・2年)・学級文庫(コンテナを巡回)の設置・全校生徒のPOP作成(2024年より1学期に行った。) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校司書の配置の継続・常任 	<ul style="list-style-type: none"> 斑鳩中学校と比べ書架数が少ないため、増設を希望。

現況調査 集計結果② 幼稚園・保育園・認定こども園・関連施設

施設名	子どもの読書に関するこの5年間の主な活動と変化	団体貸出本の活用方法	図書館に望むこと	年間図書予算	蔵書冊数(冊) (R6年度末)	今後の課題
斑鳩幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの定着(「毎日1冊」の読み聞かせが習慣化。読書活動が園の日常に根づいた。) ・子ども自身の主体的な読書体験(遊びの中で友達と一緒に読み合う姿や、興味関心に応じて図鑑を手取る姿が見られるようになった。) ・地域とのつながり(図書館ご招待デーが始まり、外部の本や読み聞かせに触れる機会があった。斑鳩町子どもに本を読む・語る会の方々に定期的に読み聞かせに来ていただくことが定着している。) ・行事との関連づけ(誕生日会や季節行事に合わせた絵本・紙芝居を取り入れることで、本が「特別な場面を彩る存在」として定着している。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本コーナーに置いて、好きな時に読んだり、担任が保育に使ったりしている。 ・年齢、興味、季節、行事を考えて活用している。 ・おすすめセット本について…幼児でも楽しめる英語の絵本があれば嬉しい。 ・年齢、興味、季節、行事などを考えて、活用している。 ・季節にあった本が数冊あると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事に合わせた「特集コーナー」(七夕、秋の自然、クリスマスなど)を設けてほしい。 ・子どもが自分で手に取りやすい「年齢別おすすめ絵本リスト」を用意してほしい。 ・図鑑や制作アイデア本など、遊びや活動につながる資料を充実させてほしい。 ・保育や家庭で活かせるように、先生や保護者向けの参考資料(絵本ガイドや遊びのヒント集)も揃えてほしい。 	なし	1329冊 【うち絵本620冊、月間絵本228冊、紙芝居155点、図鑑等296冊、ペープサート30冊】	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居等に親しむ機会をさらに増やす。 ・保育や遊びの中での効果的な活用方法を工夫する。 ・家庭や地域とも連携し、絵本の楽しみを広げる。 ・普段の保育や遊びの中での効果的な絵本等の使用方法を考えていきたい。
斑鳩西幼稚園	(令和6年3月31日 閉園)					
斑鳩東幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・季節、行事、保育に合った絵本や紙芝居の読み聞かせ ・絵本に興味関心を持ちやすい環境を作り、異年齢が絵本に触れられる場を設けている。 ・「斑鳩町子どもに本を読む・語る会」に各学年ごとに絵本の読み聞かせをしてもらっている。 ・「人形劇ゴロゴロ」さんに来てもらい人形劇鑑賞を子ども・保護者対象に行っている。 ・図書館に招待デーに参加。(年長) ・園のリクエストの本を用意してもらい、貸出してもらい活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室に保管し、子ども達が好きな時間に好きな絵本を読むことができるようにしている。 ・必要に応じて保育室に置き、いつでも自由に読み聞かせができるようにしている。 ・季節・興味・年齢・行事などを考えながら絵本を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・招待デーの日を増やしてほしい。年長以外も利用したい。 ・貸出の本に、その時折の話題の本や人気の本を入れてほしい。 	なし	1891冊 【うち絵本868冊、月間絵本300冊、紙芝居137点、図鑑等、273冊、ペープサート55点】	<ul style="list-style-type: none"> ・東公民館図書室などに足を運びたい。 ・ボランティアの活用をし、絵本やお話に親しんでいきたい。 ・保護者を含めて読書に親しむ工夫をしていきたい。

施設名	子どもの読書に関するこの5年間の主な活動と変化	団体貸出本の活用方法	図書館に望むこと	年間図書予算	蔵書冊数(冊)(R6年度末)	今後の課題
あわ保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の団体貸出本などを活用し、日々の読み聞かせ ・0～2歳児と3～5歳児に読書支援ボランティアによる人形劇と読み聞かせ ・3・4・5歳児…図書館での読み聞かせ+絵本の貸出 ・5歳児…図書館ご招待デー 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出本は本棚に入れ、季節・行事等の内容のものをよく活用している。 ・日々の保育に活用。また行事用(クリスマス)貸出も活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、図書館での司書の読み聞かせを希望 ・団体貸出(セット)の中に新しい本・紙芝居を入れてほしい ・図書館の開館時間の延長(平日) 	教材費に含む	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本 300冊 ・月刊絵本 100冊 ・紙芝居 70点 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本だけでなく、紙芝居も活用し物語の世界を楽しめるようにしていきたい。
たつた保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・読書支援ボランティアによる絵本の読み聞かせ「絵本のひろば」(0～2歳児と5歳児・3～5歳児) ・4・5歳児…公民館図書室を定期利用 ・4・5歳児 西小学校1年生と「えほんのくに」で交流 ・図書館リユース本を保育で活用 ・「えほんのじかん」公民館図書室で絵本の読み聞かせ(休止) ・未就園児とのふれあい『ピヨピヨワンダーランド』での図書館司書による読み聞かせ(休止) ・読書支援ボランティアによる『素話』(3～5歳児) 	<ul style="list-style-type: none"> ・セット貸出本は、職員室に置き、保育士が読み聞かせに活用している。(団体貸出本を利用し、絵本や紙芝居の読み聞かせをしている) ・0～2歳児用貸出本は、保育室に置き、各クラスで活用している。 ・行事にまつわる絵本や紙芝居、図鑑など貸し出しの依頼し活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・セット貸出本に新しい本や季節、行事にちなんだものを入れてほしい。(年度初めは長いお話の本は少なくしてほしい) ・公民館図書室を定期的に利用したい。開室時間を午前中にできないか 	教材費に含む	<ul style="list-style-type: none"> ・約210冊 【うち未満児組絵本40冊(R6年度記念品)、各クラス約20冊(7クラス)職員室約30冊】 	—
法隆寺幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育での絵本の読み聞かせ ・読書支援ボランティアによる絵本の読み聞かせ ・フレーベル館さんによる絵本の読み聞かせ ・図書館への訪問 ・月刊絵本の利用 ・食育にも絵本が取り入れられ、給食に物語メニューがある。食を通して絵本の世界観を感じている。(令和7年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が読み聞かせ用に絵本を選び、各クラスで絵本を見ている ・季節に合ったものや、制作物をつくる際の導入として絵本を利用することが多い 	特になし	15万円	<ul style="list-style-type: none"> ・1000冊 【うち絵本900冊(月刊絵本を含む)、紙芝居60点、大型絵本40冊】 	—
斑鳩黎明保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんぶ文庫」を開園当初から設置 園児の読書活動を豊かにする目的で年齢の大きい子と年齢の低い子と2つの文庫に子どもたちの興味を促す絵本や図鑑を所蔵し、保護者と園児が楽しめるよう、貸出を行っている。送迎時の親子の会話がはずんでいる。 ・保育時間内においても紙芝居や絵本の読み聞かせを行っている。 ・月刊絵本を毎月全園児購入し、保育教材として使用。 ・5歳児…図書館招待デーで図書館訪問 ・図書館リユース本を保育で活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は利用していない。今後活用を考えていく ・行事用(クリスマス)として団体貸出を利用、各クラスで活用している 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型絵本の種類を教えてください。貸出を希望する。 	30万円	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本800冊 ・紙芝居140冊 ・月刊絵本は毎月全園児購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の保育士による読み聞かせを続けながら絵本に親しみを持たせていきたい。ビデオやYouTubeなどに関心が行く子どもたちが増えているので絵本の良さを伝えていきたい。

斑鳩レイモンド 子ども園	令和6年4月1日 開園 ・季節や行事、物語など絵本の読み聞かせ ・年長児・・・斑鳩西小学校「えほんのくに」への参加 ・図書館ご招待デーを利用し、斑鳩町立図書館訪問 ・図書館絵本の定期貸出利用 ・共有スペース絵本コーナー設置	・各クラスや共有スペースに絵本コーナーを整え、保育教諭が読み聞かせを行ったり、子どもたちが自由に好きな絵本を選んで読んだりできるようにしている。また、登降園時の親子の触れ合いの場として活用している。 ・季節や行事、各年齢の興味に合わせて絵本を活用している。	・図書館まで歩いて行くには距離があるため、図書館ご招待デー時のバス送迎はとてありがたい。	30万円	・絵本500冊以上 ・月間絵本無 ・紙芝居約30点	・素話(ストーリーテリング)なども保育に取り入れながら、子どもたちがより多くの物語に出会える機会を増やしていきたい。
-----------------	--	---	--	------	---------------------------------	--

関連施設

施設名	子どもの読書に関するこの5年間の主な活動と変化	団体貸出本の活用方法	管轄課	配本開始年	配本頻度	その他
子どもと親のフリースペースくむ	令和5年度開室。令和6年から配本開始。	・図書館から配本された絵本、児童書を面展示し、来室者の児童・生徒や保護者が利用。	教育委員会事務局総務課	令和6年	年3回(学期毎入替)	開室時に、別途寄贈本により、各室に本を置いている。 ・児童・生徒のリクエスト本があれば、教育委員会総務課を通じ、随時本を配送。
保健センター	・令和6年度 ブックスタート後日配布事業への協力再開。(1歳6か月児健診時に、図書館職員が、会場で、受診者の子どもと保護者で、ブックスタートをまだ受けておられない方に、絵本を配布する。)また、図書館職員による読み聞かせを行った。 ・令和7年からは、健診時に自由に手に取れる絵本コーナーを設置。協働選書し図書館から配本。	・ブックスタート後日配布時、図書館職員が、絵本コーナーで読み聞かせ(令和6年) ・健診時に自由に手に取れる絵本コーナーを設置し、来場者への利用に供している。(令和7年～)	住民生活部健康対策課	令和6年	年1回(必要に応じ随時入替)	
つどいの広場	令和7年度から、図書館からの配本開始	つどいの広場利用者の子どもと保護者の利用に供している。	住民生活部子育て支援課	令和7年	年4回	

関連施設(学童保育室)

施設名	子どもの読書に関するこの5年間の主な活動と変化	団体貸出本の活用方法	図書館に望むこと	年間図書予算	蔵書冊数(冊) (R6年度末)	今後の課題等
斑鳩小学校 学童保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生を中心に、フロアに座って、積極的に読み聞かせをしています。 ・夏のつどい、クリスマス会等、行事のときに紙芝居・大型絵本を使うこともある。 ・1年生のみで、帰室後に絵本の読み聞かせを夏休みまでの期間で何回かしています。 ・クリスマス会に、大型絵本を借りて全員に読み聞かせをしています。 ・1年生の読み聞かせに使用する本は、図書館からの貸出本や支援員の持っている本などを使用しています。 ・本の扱い方、本棚へのなおし方も伝えていますが、乱暴に扱うのが悩みの種です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・置き場所…北学童は学童室前面に設置している本棚、辞書等の調べ物書物の下段に置いています。南学童は手の届く本棚の上に箱を置いて並べています。 ・頻度…巡回してくださる回数は現行より多い方がよい。 ・利用は、帰室後、宿題終了後のおやつまでの時間や雨の日。ほぼ毎日誰かは手に取ってはいますが、決まった子たちのようです。 ・人気がある本…図鑑(精密なもの、石の種類など)、まんがで歴史長編もの、キングダムとか、その関連本、日本地図、都道府県の形、国旗の本。男子には図鑑が人気、女子は絵本から占い本、読み物など、幅広く好む傾向が見られます。読書離れが激しいと思っけていましたが、おはなしの絵本を静かに読む子どももいます。 ・サバイバル、実験対決は中高学年に人気があり、リクエストもさせてもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本に興味の持てない子と大好きな子、両面でバックアップしていただけたらありがたいです。 ・巡回頻度が今より多い方が良いと思う。 ・電話で相談に乗っていただき、有難いです。 	1万円	北・南教室とも蔵書500冊以上。	<ul style="list-style-type: none"> ・学童として、子どもたちのリクエストを図書館に伝えていきたい。 ・人気本を借りると本が傷みやすいですが、子ども達に人気なので今後とも貸出を希望。 ・子どもたちに、本を読むとっかかりとなるのなら、今の流行の本も取り入れてみてはと思います。
斑鳩東小学校 学童保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館より団体貸出(3ヶ月毎)の活用 ・最近学童で買った本(さらにやばい日本史、いのちをまもる図鑑、ポケモン大辞典) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童設置の本棚に並べている ・長期休暇等は午前の自主学習時に利用 ・自由遊び時に各自自由に利用している。 	特になし	なし	北・南教室とも130冊ほど+図書館貸出40冊	特になし
斑鳩西小学校 学童保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの流行もあり、読み聞かせは中止、再開はしていない。 ・図書館より団体貸出本の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所…北・南保育室に分けて本棚に設置。 ・遊び時間や宿題終了後に利用。 ・1年生は「迷路」や「ミッケ」、「ウォーリーを探せ」、図鑑を好む。(文字の少ないもの) ・2年生以上は絵本や物語、文字の多い本も読むようになり、伝記や物作り(折り紙、工作)の本も人気がある。 	特になし	なし 予算は組んでいないが、教材費で購入している	北教室 約150冊+図書館貸出本20冊 南教室 約400冊+図書館貸出20冊	<ul style="list-style-type: none"> ・次はどんな本が届くかなと楽しみにしている子もいる。 ・リクエストを聞いて、希望の多い本や皆が読めそうな本、アニメやゲームを小説にしたものを選び、文字に親しめるようにしている。(カービィ、まいぜん、映画ドラえもん)

現況調査 集計結果③ 読書支援ボランティア

団体名	代表者	設立年	人数	活動頻度	活動拠点	活動内容	図書館の児童サービスへの協力
おはなしさんぽ	黒原 みどり	昭和58年	7名	月2回 (第3木曜・第3土曜)・ 年2回	中央公民館 町立図書館	月1回の勉強会で情報交換、絵本・児童書他の勉強／年2回 町立保育園での人形劇公演／町立図書館の事業に協力/斑鳩西小学校への読み聞かせ(朝読1～3年生)	・土曜日のおはなし会 ・ブックスタート ・学校おはなし訪問等
人形劇ゴロゴロ	伊藤 幸子	平成4年	10名	週1回(毎火曜)	中央公民館	・町内(たつた・あわ保育園・斑鳩幼稚園、公民館まつり)で人形劇を上演 ・県内(奈良人形劇協議会主催奈良人形劇ミニフェスタ・わらべうたフェスタ・奈良市内幼稚園・こども園)で人形劇を上演	・学校おはなし訪問 ・ブックスタート等
ひこはな絵本の会	山中 世志子	平成5年	4名	月1回(第2水曜)	町立図書館	・毎月テーマを取り入れた勉強会 ・毎月、おはなし会の選書と準備 ・毎月第2水曜日おはなし会 ・その他、町外勉強会参加	・水曜日のおはなし会 ・えほんのひろば ・学校おはなし訪問 ・ブックスタート等
おはなしのとびら	副島 千恵子	平成13年	6名	土曜の午前・ 午後	町立図書館 個人宅	・町立図書館の行事に参加	・ブックスタート
斑鳩おはなしの会	加本 清江	平成18年	11名	年6回(隔月 第3月曜午前)・ 年5回(おはなし会)	東・中央公民館 町立図書館	・隔月で講師を招いて、ストーリーテリングの勉強会 ・年1回の発表会開催「ろうそくのおはなし会」 ・年4回(春・夏・秋・冬)ストーリーテリングおはなし会 ・年2回大人のためのおはなし会 ・町外の勉強会・交流会に参加	・季節のおはなし会(年4回) ・大人のためのおはなし会(年2回) ・学校おはなし訪問 ・ブックスタート
斑鳩町子どもに本を読む・語る会	山中 世志子	平成29年	12名	月2回 (第1金曜・第3金曜)	町立図書館 中央公民館図書室	・絵本の勉強会 ・町内保育園・幼稚園への読み聞かせ訪問 ・児童養護施設への読み聞かせ訪問	・学校おはなし訪問 ・えほんのひろば
劇団いかるが	山根 勝慶	平成10年	8名	年4回程度 (日曜日)	町立図書館	・紙芝居 (ボランティア活動以外は、年2回の舞台公演を実施)	・としょかんかみしばい劇場 (令和6年度～)

団体名	代表者	設立年	人数	活動頻度	活動拠点	活動内容	図書館の児童サービスへの協力
図書館ボランティア(個人)*グループ登録除く	本庄 徳光	平成9年	15名	随時	町立図書館	・図書館行事への協力	・青空おはなし会 ・学校おはなし訪問 ・ブックスタート ・えほんのひろば等
法隆寺幼稚園 図書ボランティア	柘田 典子	平成28年	3名	月1回	法隆寺幼稚園	・絵本の読み聞かせ	
斑鳩小学校 学校支援ボランティア メロンパン	森脇 郷子 永澤 麗子	平成15年	40名	月2回(第2・4水曜日)	斑鳩小学校	・絵本の読み聞かせ(昼休み) ・図書の修理	
斑鳩東小学校 学校支援ボランティア 読み聞かせ	柘田 典子	平成26年	25名	月4回程度	斑鳩東小学校	・絵本の読み聞かせ(朝読1~6年生)	
斑鳩西小学校 学校支援ボランティア おはなしさんぽ(再掲)	黒原 みどり	令和6年度 再開	5名	学期に3回	斑鳩西小学校	・絵本の読み聞かせ(朝読1~3年生)各学年1回	
斑鳩南中学校 図書ボランティア	蒲生 尚子	平成20年	2名	学期に1回	斑鳩南中学校	・図書の修理、装備	

有償ボランティア

団体名	代表者	設立年	人数	活動頻度	活動拠点	活動内容	図書館の児童サービスへの協力
斑鳩町図書室研究会	北山 裕見子	平成26年	9名	図書室開室日	中央公民館 図書室	・公民館図書室の運営(町委託 有償活動)	・児童書の選定、貸出など

令和7年度 保育園・幼稚園・こども園・学校・学童への集配スケジュール

斑鳩町立図書館

【基本】各水曜10:00～11:30に配達： 第1週(保育園) 第2週(中学校) 第3週(幼稚園) 第4週(小学校・学童)							
月	曜日	配達日	3保育園	2中学校	2幼稚園・2こども園	3小学校	5学童
4月	第1水曜	4/2	セット貸出・返却				
	第2水曜	4/9		セット貸出			
	第3水曜	4/16			セット貸出		
	第4水曜	4/23				セット貸出	○
5月	第1水曜	5/7			図書館 振替休館日		
	第2水曜	5/8	0.1.2セット貸出・返却				
	第2水曜	5/14		○			
	第3水曜	5/21			○		
	第4水曜	5/28				○	セット貸出・返却
6月	第1水曜	6/4	セット貸出・返却				
	第2水曜	6/11		○			
	第3水曜	6/18			○		
	第4水曜	6/25				○	○
7月	第1水曜	7/2	0.1.2セット貸出・返却				
	第2水曜	7/9		セット返却			
	第3水曜	7/16			セット返却		
8月	第4水曜	7/23				セット返却	○
	第1水曜	8/6	セット貸出・返却				
	第2水曜	8/13			学校休業日のため休便		
	第3水曜	8/20			○		
9月	第4水曜	8/27				○	セット貸出・返却
	第1水曜	9/3	0.1.2セット貸出・返却				
	第2水曜	9/10		セット貸出			
	第3水曜	9/17			セット貸出		
10月	第4水曜	9/24			図書館 振替休館日		
	第4金曜	9/26				セット貸出	○
	第1水曜	10/1	セット貸出・返却				
	第2水曜	10/8		○			
	第3水曜	10/15			○		
11月	第4水曜	10/22				○	○
	第1水曜	11/5	0.1.2セット貸出・返却				
	第2水曜	11/12		○			
	第3水曜	11/19			○		
12月	第4水曜	11/26				○	セット貸出・返却
	第1水曜	12/3	セット貸出・返却				
	第2水曜	12/10		セット貸出・返却			
	第3水曜	12/17			セット返却		
1月	第4水曜	12/24				セット返却	○
	第1水曜	1/7	0.1.2セット貸出・返却				
	第2水曜	1/14				セット貸出	○
	第3水曜	1/21			セット貸出		
2月	第4水曜	1/28		○			
	第1水曜	2/4	セット貸出・返却				
	第2水曜	2/11			図書館 振替休館日のため休便		
	第3水曜	2/18			○		
3月	第4水曜	2/25				○	セット貸出・返却
	第1水曜	3/4	0.1.2セット貸出・返却				
	第2水曜	3/11		セット返却			
	第3水曜	3/18			セット返却		
3/25	第4水曜	3/25				セット返却	○

■ 『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2030』 協議経過

年 月	事 項	備 考
令和7年 2月	『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2025』 と今後の改定について（協議）	斑鳩町子ども読書活動 推進計画調整会議
	『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2025』 と今後の改定について（報告）	斑鳩町立図書館協議会
6月	編集方針・担当決定	
7月	進捗報告	斑鳩町立図書館協議会
8月	現況調査と担当部分執筆 集約作業	
12月	『計画 2030』（素案）作成と書面確認	
令和8年 2月	『計画 2030』（素案）審議と承認	斑鳩町子ども読書活動 推進計画調整会議
	『計画 2030』（案）の報告	斑鳩町立図書館協議会
3月	『計画 2030』（案）の確定、承認	
3月	『計画 2030』改定版 発行	

■ 『斑鳩町子ども読書活動推進計画 2030』 策定委員等

(敬称略。令和8年3月31日現在)

○ 読書支援ボランティア

黒原みどり (おはなしさんぽ) 伊藤幸子 (人形劇ゴロゴロ)
山中世志子 (ひこはな絵本の会、斑鳩町子どもに本を読む・語る会)
副島千恵子 (おはなしのとびら) 加本清江 (斑鳩おはなしの会)
北山裕見子 (斑鳩町図書室研究会)

○ 幼稚園・保育園・認定こども園

下村知子 (斑鳩幼稚園) 川村浩嗣 (斑鳩東幼稚園)
小畑八千代 (あわ保育園) 遠山健 (たつた保育園)
上田ちひろ (法隆寺幼稚園) 丹治浩子 (斑鳩黎明保育園)
長谷川睦美 (レイモンド斑鳩こども園)

○ 小学校・中学校

野村暢子 (斑鳩小学校) 丸岡絵里子 (斑鳩東小学校)
大塚萌実 (斑鳩西小学校)
奥田有佐 (斑鳩中学校) 菅原崇司 (斑鳩南中学校)
中里弘恵 (小学校図書館司書) 蒲生尚子 (中学校図書館司書)

○ 関連施設

斑鳩学童保育室 (教育委員会事務局生涯学習課)
つどいの広場 (住民生活部子育て支援課)
斑鳩町保健センター (住民生活部健康対策課)
子どもと親のフリースペース “くるむ” (教育委員会事務局総務課)

○ 図書館

町立図書館 (教育委員会事務局生涯学習課)

○ 事務局

教育委員会事務局生涯学習課図書館係

斑鳩町子ども読書活動推進計画 2030

- 推進計画2025の成果と課題-

令和 8 年 3 月 31 日 発行

編集/発行 斑鳩町教育委員会

〒 636-0114 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西 3-7-12